



のん の しゃ

音野舎だより

母の日・父の日を祝う会



五月十九日(日)は、母の日・父の日を祝う会を行いました。特別養護老人ホームでは、食堂にて運動会を行いました。入居者の方々と職員は紅白に分かれ、ハチマキをつけてパン食い競争やお手玉リレーなどで競い合いました。皆様童心に返ったように表情が活き活きとし、普段はあまり思うように動かない手足もいつもより動いているように見えました。

ご家族の皆様にも参加して頂き、子供から大人までみんな一緒に楽しみ、笑顔に包まれた思い出に残るひと時となりました。一方ケアハウスでは、食堂にて川辺で活動されている「アロハ・ストレリチア」の方々によるフラダンスを披露していただきました。その後、お菓子のつかみ取りや○×クイズ、ゲーム、リハビリ体操などを行いました。ご出席いただきましたご家族の方々にもとても喜んで頂けました。

また、入居者の方が作られた手作りコースターやメッセージ付きカードをプレゼントされると「ありがとう」嬉しいです」と何度も見ても喜ばれ、感謝に満ちた楽しい会になりました。



舎 納 涼 大 会



今年は何覧武双太鼓様による太鼓や笛、擦り金などを使った演奏から始まりました。大太鼓から小太鼓まで様々な種類を使い分け、迫力のある演奏でした。

アロハストレリチア様は南国ハワイを思わせる素敵な衣装や髪飾りをつけフラダンスを披露して下さいました。ゆったりとした曲に合わせて腰を振りながら踊る姿にうっとりしました。



アサヒ物産昌ちゃんずの皆様は毎年出演していただき、今年も歌やダンスなどを披露し会場を楽しませました。



日向ひょっとこ踊り谷山愛笑会の皆様は、舞台の上だけでなく踊りながら場内を練り歩き、子供からお年寄りまでみんな一緒に手を動かしたりと、会場全体が楽しい雰囲気になりました。



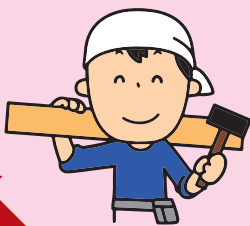
2週間ほど前になると町内に看板を立てに行きます。



納涼大会は行事委員会が中心となり、開催日時や出演者など、納涼大会に関する予定を話し合い決定します。



【番外編】
納涼大会開催まで



納涼大会をお知らせする看板作りです。今年はペンキを塗り替えました。



1週間前には業者の方が来られ舞台や屋台を設置して頂きました。



灯籠の補正や新しい絵に貼り替えなどを行います。





第19回 音野

下郡文化財青壮年団の皆様は豊玉姫神社の3種類の神舞を披露していただき、笛・太鼓を使い、曲に合わせてお面を被った舞手の方が独特のリズムで舞う姿は神秘的でした。



川辺高等学校の皆様には薙刀を披露していただきました。普段あまり見ることのない舞姿で音楽に合わせて薙刀を操る姿は、とても凛としており印象に残りました。



大心寺二葉保育園の園児の皆様は、かわいなお遊戯を披露してくれました。2人でペアになり一生懸命踊る姿にお年寄りの方々も優しい笑顔になっていました。



三鐘流洋美会の方々は、着物姿で扇子を使った和踊りを披露してくださいました。一つ一つ細やかな動きを曲に合わせておしとやかに踊る姿にみとれました。



7月27日(土)平成から令和になり初めての納涼大会でしたが今年も無事終わることができました。利用者の方々も普段とは違う雰囲気喜んでおられました。出演いただいた皆様、お越しくださった皆様、ありがとうございました。



<納涼大会当日>

業者の方々が来られ音響などの設備を設置していただきます。

開始時刻ぎりぎりまで最終確認など行い、納涼大会が無事終了できるよう準備を行っています。

ペットボトルを切り一つ一つ中に砂と蠟燭を入れ、暗くなったら火を灯します。

お客様が園内を靴のまま入れるように隙間なくビニールシートを張ります。

提灯や灯籠など飾りつけ、椅子やブルーシートなど準備します。



厨房では屋台で販売する品物を調理しています。



地域ふれあいサロン

六月十二日(水)に小規模多機能ホームでは地域ふれあいサロンを開催いたしました。

みのり会の十一名の方が来られ、男性二名の方がハーモニカを演奏してくださいました。演奏に合わせて利用者の方々と一緒に歌を歌ったり、手を動かしながら体操なども行いました。

また、看護師による熱中症についての講話も行い、実際に熱中症になった職員の話も交えながら、これからの時期どういう対策をしたら良いのか、熱中症になった場合どのように対応したら良いのかなど、皆様自分の事に置き換えて講話を聞いておられました。



海の日グランドゴルフ大会



七月十六日(火)は、音野舎と南九州さくら病院が合同主催の「海の日グランドゴルフ大会」を開催いたしました。

当日はあいにくの天候でグランドゴルフコンディションの悪い中、約三百名の地域の方々に参加していただきました。

前日まで雨が降っていた影響で芝が伸び、球が思うように転がらず苦戦されていました。音が、皆様真剣にプレイを楽しんでおられました。

音野舎からも一チーム参加させていただきましたが、成績はさておき、プレイを楽しませていただきました。

来年は、今年以上の成績を残せるようまた、皆様に楽しんでいただけるように工夫していけたらと思います。



『ナイス！ホールインワン!!』

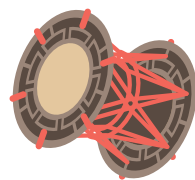


ねぶた祭り先発隊



七月十八日(木)は、青森県平川市より「ねぶた祭り先発隊」の四名の方が来られました。七月二十日(土)に知覧町で開催予定の「ねぶた祭り」で使用されている、担ぎ太鼓や擦り金、笛などを使って、祭囃子を演奏していただきました。

少ない人数ではありましたが、迫力があり、先発隊の威勢の良い掛け声につられて手拍子なども飛び出し、元気をもらいました。「珍しいものが聞けて良かった」と、ねぶた祭りへ足を運べない利用者の皆様は、とても喜んでおられました。



避難訓練

六月二十二日(土)、夜間想定の避難訓練を行いました。昨年までは、特養等施設棟と地域密着型のサービス棟でそれぞれ行っていました。今年から合同で年二回避難訓練を計画しております。

今回は、南九州消防署立会いのもと、中央分団、霜出分団、地域の方々にも参加をいただき、火災発生時の連絡方法から誘導までの一連の流れを確認しました。

開始前は、職員も利用者も落ち着かない様子でしたが、いざ警報装置が発報すると職員同士しっかりと声を掛け合い、利用者の方々も職員の指示に従いスムーズに避難することができました。

今回の訓練では、消防分団の方々にも実際に放水をしていただき、より実践的な訓練をすることができました。

毎年避難訓練は行っていますが、訓練当日になると緊張感からか慌てる姿がみられます。火災は、いつ、どこで発生するか分かりません。普段の訓練から職員一人一人が真剣に取り組み、非常時にスムーズに対応できるように準備していきたいと思えます。



ご協力いただいた皆様



(地域の方々)



(中央分団・霜出分団)



(南九州消防署)

音野舎からのお知らせ

敬老会

令和元年 9月21日(土)

現在、特養とケアハウスあわせて90歳以上の方が33名おられます。最高年齢は、特養入居者の霜出イサ様で102歳です。

ご家族と一緒に利用者の皆様の長寿をお祝いしたいと考えております。お時間がありましたらご参加の程、よろしくお願いたします。



職員紹介

5月からデイサービスの機能訓練指導員として勤務しています。これまでも病院や施設で約15年、作業療法士として患者様やご利用者様のリハビリを行っていました。音野舎でもご利用者様が生き活きと、ご自宅で生活を続けられるように支援を行って参ります。

よろしくお願いたします。



藤田 志穂
(作業療法士)

音野舎ホームページのご案内

この度、広報委員会ではホームページをリニューアルしました。掲載写真を新しくしたり、トップページにはドローンから撮影した音野舎の写真を載せるなど、普段見ることのできない風景を掲載しております。また随時日常の事や行事、お知らせなども更新していく予定です。ぜひ、ホームページもご覧ください。

編集後記

今年の梅雨はひとときわ長時間の雨に見舞われ、連日九州南部の水害の様子が報じられましたが、皆様のところはいかがでしたか。

梅雨が明けると、その後は台風のシーズンでもあります。災害が発生してからでは避難もできないこともあります。普段から災害に備えて食料等の備蓄や家族間の連絡方法を決めておくなどの対策を溝じておきましょう。

発行

社会福祉法人 滴々会
高齢者総合福祉施設 音野舎(のんのしゃ)
〒897-0302
鹿児島県南九州市知覧町郡 2072 番地 2
TEL 0993(58)7171
FAX 0993(83)4771
URL <http://www.nonnosya.com/>
E-mail info@nonnosya.com